

2. 日本哲学会および人文社会系の学会は、大学院生および非一常勤職研究者に対して、どのような支援策を講じるべきと思いますか。

ID	自由記述内容	学会	年齢	性別
2	個々人が考えることでは	日本哲学会	63	男
5	低額で複数人採用の研究奨励基金の設置	若手哲学研究者フォーラム	38	男
20	国際学会発表の支援	メーリングリスト	38	女
39	学会費の減額(*);懇親会費の減額;政府・文科省、各大学当局に対する学会としての問題提起	社会思想史学会	29	男
72	とにかく社会人より経済的に優遇。	科学基礎論学会	40	男
78	大学院生および非一常勤職研究者に対する相談窓口を設ける。	不明	76	男
111	他分野の学会との連携	科学基礎論学会、日本科学哲学会	40	男
119	政策・行政等に対する哲学及び人文学一般の重要性の発信	日本科学哲学会	23	男
140	哲学のような学問の重要性の社会的認知	日本科学哲学会	46	男
165	発表の質の向上と、分野自体の広報活動	科学哲学会	29	男
166	お金で購入する参加型資格の廃止。	科学基礎論学会	57	女
187	大学に対し哲学教員の存在意義を明瞭に提示し、以て教員数自体を増やすよう提言すること。	中世哲学会	31	男
188	研究職ポスト拡充への働きかけを声を大にして。	中世哲学会	53	男
212	高校倫理の拡充あるいは必修化を文科省に訴える。	日本倫理学会	39	男
213	国外での就職という選択肢の開拓	日本倫理学会	37	男
224	大会シンポジウムのインターネット配信	日本哲学会／日本倫理学会	46	女